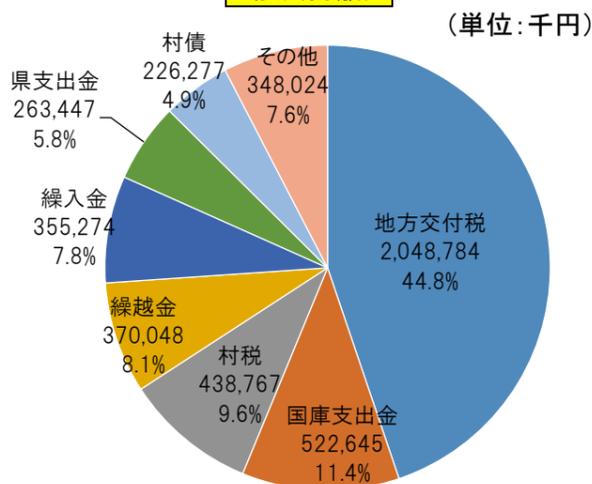


令和5年度決算の概要

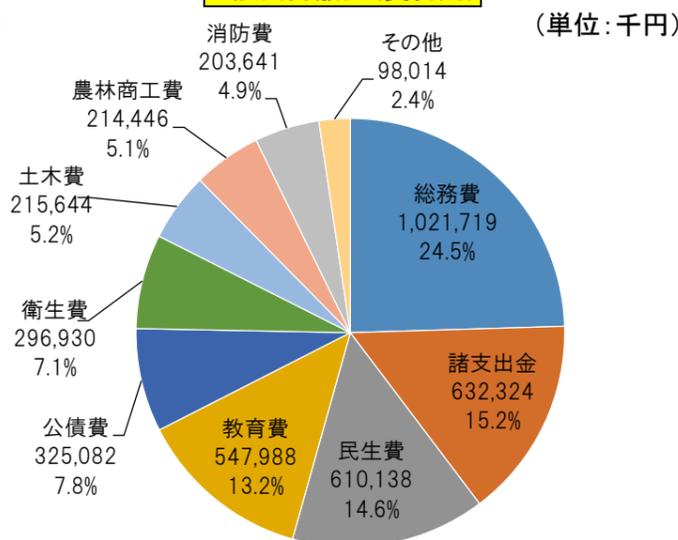
明日香村の令和5年度一般会計決算は、歳入45億7,327万円、歳出41億6,593万円で、前年度と比べると歳入で13億3,052万円、22.5%減、歳出で13億6,781万円、24.7%の減となりました。また、一般会計と7特別会計、水道事業会計並びに下水道事業会計の10会計を合算すると、歳入67億9,604万円、歳出65億2,888万円となり、前年度と比べると歳入で13億7,821万円、16.9%減、歳出で13億6,229万円、17.3%減(新庁舎建設推進事業12億7,933万円減、学校施設環境整備事業(小学校北側駐車場整備等)6,820万円減等)となりました。一般会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額のうち、次年度に繰り越す事業に必要な財源1,260万円を差し引いた実質収支額は3億9,474万円の黒字となりましたが、依然として地方交付税や国庫支出金など依存財源にたよった決算となっています。

一般会計歳入



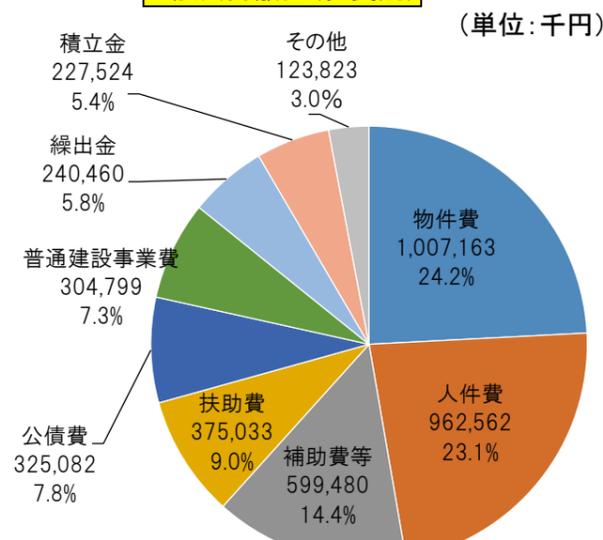
(歳入 4,573,265,606 円)

一般会計歳出(費目別)



(歳出 4,165,925,565 円)

一般会計歳出(性質別)



※諸支出金については、基金積立金、特別会計繰入金等

会計別歳入歳出決算

(単位:円)

会計区分	歳入	歳出	差引
一般会計	4,573,265,606	4,165,925,565	407,340,041
特別会計			
整備基金	39,278,813	35,915,705	3,363,108
高松塚壁画館受託事業	7,276,654	7,276,654	0
国民健康保険(事業勘定)	765,639,792	752,726,661	12,913,131
“(診療施設勘定)	10,984,508	10,984,508	0
後期高齢者医療	125,015,128	124,912,528	102,600
介護保険(事業勘定)	681,219,977	640,468,486	40,751,491
“(サービス事業勘定)	4,527,062	4,527,062	0
飲料水供給施設事業	11,919,959	11,919,959	0
公有地等住宅開発事業	2,115,965	2,115,965	0
小計	1,647,977,858	1,590,847,528	57,130,330
水道事業会計	235,852,922	353,984,470	△118,131,548
下水道事業会計	338,946,512	418,121,404	△79,174,892
合計	6,796,042,898	6,528,878,967	267,163,931

基金及び起債の状況

(単位:円、%)

区分	令和4年度末	令和5年度末	増減率
基金			
財政調整基金	723,240,278	593,257,867	▲18.0
減債基金	314,615,218	314,650,097	0.0
文化財保存基金	89,189,795	90,963,795	2.0
応援基金	77,790,717	80,621,619	3.6
その他の基金	3,693,335,926	3,790,308,146	2.6
合計	4,980,584,501	4,869,801,524	▲2.2
起債			
普通会計	4,835,891,723	4,760,048,187	▲1.6
特別会計	6,600,000	5,866,813	▲11.1
水道事業会計	601,189,210	610,208,866	1.5
下水道事業会計	1,158,837,821	1,025,822,181	▲11.5
合計	6,602,518,754	6,401,946,047	▲3.0

(※出納整理期間を含む。)

特色ある歴史的環境で次代を担う子どもが育つ村

生活環境及び産業基盤の整備

※ は新規事業

区分	内容	金額
子ども子育て支援事業の推進【住民課・健康づくり課・教育課】	・子育て世代包括支援センターを中心に、幼稚園の余裕教室を活用した子育て交流事業【R4~】を強化するとともに、子育てに関する学びの場等の充実を図った。 ・子育て世代の経済的な負担の軽減を図るため、不妊治療費助成【H28~】、 新生児聴覚検査助成事業【R5~】 、多子世帯の給食費負担軽減【H28~】、幼稚園や保育園の保育料等軽減【H28~】及び無償化【R1~】、出産・子育て応援ギフト【R4年~】出産祝金、小・中学校への新入学児童・生徒へ祝金の支給【H29~】等を引き続き実施。(児童福祉支援事業121,001,940円 母子保健事業6,090,400円、出産祝金給付事業1,200,000円、入学祝金給付事業3,000,000円)	131,292,340円
幼小中学校経営事業【教育課】	・幼小中一貫教育の特色を活かした教育として、小学校高学年から教科担当制授業を行い、英語教育、郷土学習の充実を図った。また、臨床心理士や特別支援員の配置により、いじめや不登校など特別な支援を要する子どもたちに適切な指導やアドバイスを行い、学力向上と自立した感性豊かな子どもの育成を図った。	39,422,466円
図書室整備事業【教育課】	・健康福祉センター内に図書室を設けることで、図書室利用者の便益向上と健康福祉センターにおける子育て支援や多世代交流にかかる機能強化を図る。【翌年度繰越】36,800,000円	13,700,000円

万葉の地で元気にいきいきと暮らせる村

健康・福祉

区分	内容	金額
健康増進事業【健康づくり課】	・特定健診に特化したあすか健康プロジェクト事業【H24~】と健康ステーション事業【H29~】等を積極的に連動させ、壮年期から高齢期へと連続性のある健康づくりを展開し、健康づくりの新たな取組に健康ポイントの活性化、ボランティア活動の拡充の検討を行い、健康づくりのチャレンジを推進した。 ・経済的な負担の軽減を図るために、各種健診の自己負担の助成及び無償化、がん患者の医療用補装具費助成【R3~】、 骨髄バンクドナー費助成【R5~】 を実施。	4,790,917円
地域包括ケア体制構築事業【健康づくり課】	・地域包括支援センターを中心に、高齢者のフレイル予防対策として、社会福祉協議会や関係団体と連携し、ふれあいサロン活動【H27~】にリハビリに関わる専門職種の継続的な介入を行い今後の実施に向けての検討を実施。 ・後期高齢者の低栄養予防や口腔機能向上、健康不明者への個別ケアを重点的に実施し、必要な介護予防事業や介護サービスに繋げ重症化予防を図った。【R3~】。	64,904,732円
最後の暮らし方をも見据えた高齢者支援拠点のあり方検討事業【健康づくり課】	・2025年に団塊の世代全員が、75歳以上を迎えるにあたり、 人生の最後の暮らし方を見据えた在宅医療と介護のあり様や日常生活や社会活動が持続する支援体制や役割について基礎調査と分析を行った。	1,601,320円
医療費助成事業【住民課】	・必要とする医療を容易に受けられるように、心身障害者医療費、乳幼児・子ども医療費及びひとり親等医療費等の自己負担分の一部を助成。	31,156,584円

古都にふさわしい安全・安心で生活しやすい村

安全・安心・生活環境・定住

区分	内容	
新庁舎移転業務【総務財政課】	・分散していた各課の業務を新庁舎に移転・集約するとともに旧庁舎内の不要什器等の処分をおこなった。	8,800,000円
ファシリティマネジメント推進事業【総務財政課】	・新庁舎への移転に伴い、旧庁舎及び周辺エリアの利活用の検討を行いつつ、活用が難しい一部の建物については解体設計を行った。	6,094,000円
デジタル化推進事業【総務財政課】	・住民サービスの向上を第一に、国の進める自治体システムの標準化移行準備、奈良県主導のシステムとの連携や導入の検討、職員の研修などに取り組んだ。	6,690,200円
防災行政無線等移設事業【総務財政課】	・新庁舎移転に伴い、村防災行政無線、県防災無線、震度計及び雨量計の移設をおこなった。	66,055,000円
定住促進事業【総合政策課】	・空き家を有効活用し定住促進を図るため、空き家バンク制度により、新たな物件の登録や、所有者と利用者のマッチング、居住のために必要な改修などの経費に対する一部助成を実施。【H21～】(登録奨励金3件、仲介補助金8件、動産整理費用補助金2件、リフォーム工事補助金3件、利子補給金1件) ・子育て世帯の定住を目指し、子育て世帯が住宅の新築等を行う際の負担を軽減するための助成を実施。5件【H28～】 ・阪合地区市街化区域において、住宅地形成を促進するため、代表地権者による世話人会を開催、事業実施にむけた手法の検討及び事業参画に繋がる民間事業者との検討を実施。	14,450,300円
ごみ処理事業 し尿処理事業【住民課】	・一般廃棄物(可燃ごみ・資源ごみ・不燃・粗大ごみ)の適正処理に努めた。 ・し尿の適正処理を行うとともに今後も継続的に運用し西明日香の景観保全を図るため、し尿中継施設の整備工事を実施。	73,081,283円 30,421,055円
公共交通運行事業【総合政策課】	・誰もが身近に利用できる公共交通を目指して、赤かめ周遊バスなど路線バスやデマンド型乗合タクシーを運行。利用環境を向上するために、バス停留所四阿を設置。高齢者等の外出を支援するために、社会福祉協議会と連携して買い物支援事業を実施。地域公共交通を開催し、地域公共交通計画の骨子案を作成。	52,391,790円
下水道施設整備事業【地域づくり課】	・生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、事業計画変更に伴う諸元整理を実施。 公共下水道事業変更計画諸元整理業務委託 A=352ha ・下水道施設の計画的かつ効率的な長寿命化のため、マンホール蓋の調査及びマンホールポンプの修繕・改築計画を策定。マンホール蓋調査 N=81箇所 マンホール形式ポンプ場 N=14機場	2,750,000円 10,255,300円
水道老朽管等更新事業【地域づくり課】	・安全で安定した給水を行うため、水道施設の改修及び老朽管路布設替えのための測量設計を実施。 配水管改修工事(飛鳥・川原) L=6.4m 減圧弁撤去 2箇所 配水管布設替測量・設計(越) L=1,250m (島庄) L=50m	25,036,000円 17,765,000円
ため池耐震性調査事業【地域づくり課】	・地震や豪雨による防災重点ため池の決壊の危険性を判断するため、耐震性調査及び劣化状況評価等を実施。 耐震性調査 和田池(豊浦) 劣化状況評価 16池 啓発看板設置 17池	27,181,000円
道路維持事業 橋梁長寿命化事業【地域づくり課】	・道路利用者の安全・安心な通行を確保するため、舗装や構造物の修繕を実施。道路維持事業 御園他6大字 ・橋梁の長寿命化を図るため定期点検並びに修繕が必要な橋梁について設計及び修繕工事を実施。 橋梁定期点検 30橋 橋梁修繕設計 1橋(稻淵) 橋梁修繕工事 1橋(上)	28,864,000円 22,781,500円
道路改良事業【地域づくり課】	・道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路改良工事を実施。 道路改良工事(村道小原・八釣1号線) L=66m、側溝工 L=61m、舗装工 A=332㎡等	14,647,937円

古代史の舞台で交流を促し元気のある村

農業・林業・商工・観光・雇用

区分	内容	
まるごと共通券システム構築事業【総合政策課】	・世界遺産登録に向け、自動車による来訪増大を緩和し、公共交通への利用転換を誘導するため、駐車場を予約した人が、赤かめ周遊バスと観光関連施設の入館ができるデジタルパスを作成。 ・公共交通利用促進のため、赤かめ周遊バスフリー乗車券のデジタル化を実施。	3,410,000円
都市計画区域検討基礎調査業務【総合政策課】	・都市計画の区域区分の見直しを行っていくために必要な都市計画区域区分の境界線及び面積の精査を実施。また、史跡地などにおける区域区分変更の検討を実施。	1,056,000円
担い手育成支援事業【観光農林推進課】	・農業従事者が減少するなかで、持続的に営農活動が行えるよう新規就農者等が行う生産活動に対する支援を実施。 ・担い手への継承・集約の促進を図るため、耕作放棄地解消活動に取り組む集落に対する支援を実施。 ・大字における地域農業の将来方針を明確にする地域計画の策定に対する支援を実施。(4大字)	7,315,000円
農村魅力づくり事業【観光農林推進課】	・飛鳥ハーフマラソンなどの来訪者へのもてなしの演出を行うため、昔ながらの水稲風景復元に向けた取り組みを実施。 ・農業体験プログラムの造成による飛鳥ファンへの魅力発信とともに、担い手減少が顕著となっている中で、新たな担い手として関係人口の確保に向けた検討及びアグリスマートシティ等の実証事業を実施。	15,130,000円
有害獣対策事業【観光農林推進課】	・猟友会及び捕獲専門員と連携し、積極的な個体数の減少(駆除)に取り組むとともに、狩猟免許の取得・更新助成による人材確保及び電気柵購入補助や原材料支給による支援を実施。 ・集落等の弱点や課題を診断し、防御技術向上や自己防除の認識を高めるための取り組みを実施。	11,909,820円
観光振興事業【観光農林推進課】	・飛鳥ファン拡大に向けて、SNSによる観光情報発信力の強化とともに、夏と冬の閑散期キャンペーンを実施。 ・観光消費額向上に向けて、明日香村オリジナル御朱印「飛鳥乃余韻」の企画開発を継続的に実施。 ・新たな観光産業の創出に向けた人材育成として飛鳥地域プロガイド育成プログラムを実施し、5名をプロガイドとして認定。	7,096,838円
観光活性化事業【観光農林推進課】	・冬期間散期対策に加え、「飛鳥光の回廊」の検証を実施し、今後の夏期間散期対策の企画検討を実施。 ・観光庁補助事業として「考古学ツーリズム」の造成及びモニターツアー等を実施。	3,938,000円
飛鳥ハーフマラソン事業【教育課】	・「走ってタネをまこう」をキャッチコピーに、参加費の一部を歴史的風土の保全にあてるとともに、世界遺産登録と連動して、国内外に広く情報発信を行い、新たな明日香ファンの獲得を図った。【R1～】(実行委員会決算 56,399,703円)	15,000,000円

世界遺産登録による歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村

保存活用・文化継承・景観・里山・情報発信

区分	内容	
世界遺産登録推進事業【総合政策課・文化財課】	・世界遺産登録推進協議会を中心として、推薦書のブラッシュアップ、国際的な理解を得るため海外有識者との意見交換、講演会等による普及啓発活動を実施。各市村で、保護措置のための史跡の追加指定を実施。【H18～】 ・同志社大学と連携し、VR・ARを活用した飛鳥京歴史ゾーンの古代の様子を分かりやすく展示するため、今後VR・ARコンテンツを搭載するメタバース空間を作成。	10,820,433円
村民協働事業【総合政策課】	・景観づくり協議会による景観形成活動に対する景観配慮意識向上への支援を実施。【H23～】 ・大字単位の景観、環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援を実施。【S55～】 ・建築物等の新增改築の際に景観に配慮した屋根や外壁等に係る経費の軽減を図るため助成を実施。【S55～】	365,500円 41,312,750円 31,659,000円
周遊ルート検討事業【総合政策課】	・明日香まるごと博物館の実現に向けて、今後、来訪者が周遊する環境を整備するために必要な基礎資料として、拠点や視点場、周遊ルート案を作成。	4,774,000円
主要古墳等整備活用事業【文化財課】	・世界遺産構成要素となる村内主要古墳等において、古代飛鳥を体感できる施設として保存・活用を図るための計画づくりを行った。【R4～】(中尾山古墳整備基本計画・牽牛子塚古墳隣接地園路等整備工事)	16,259,100円
古代飛鳥再現事業【文化財課】	・飛鳥の歴史文化資源の「見える化」を図るため古代飛鳥を復元する手法の検証を行い、飛鳥時代を体感できるコンテンツ等の開発を行った。【伎楽復元】	4,290,000円
芸術文化事業【文化財課】	・村内在住の美術作家を中心とした展覧会や文化祭などの開催を通じて村民の芸術性を高め、文化の香る村づくりを促進し、誘客を図る。【明日香の匠展、明日香村文化祭、飛鳥アートヴィレッジ等】	8,255,078円